

**2017年4月改訂(第12版)

*2013年12月改訂(第11版)

Rh 式血液型判定対照用

Rh コントロール 「三光」

1% [w/v] アルブミン

血液型検査では、自己抗体を有する検体、あるいは高 γ -globulin血症など血清蛋白に異常のある検体で偽陽性反応が認められることがある。

Rh コントロール「三光」は、こうした検体自身の異常に起因する偽陽性を監視する目的で、陰性対照として使用する。

Rh コントロール「三光」は、抗Dモノクロ「三光」の対照用試薬であり、他の抗D血液型判定用抗体などの対照としては使用できない。

本 質

本品は、抗Dモノクロ「三光」の蛋白濃度に合わせ、ウシ血清アルブミンを1% [w/v] 含むリン酸緩衝生理食塩液。保存剤としてアジ化ナトリウムを0.1% [w/v] 含有する。

操作法

抗Dモノクロ「三光」の操作法に準じ、検体と並行して検査する。

結果の判定法

各操作法でRh コントロール「三光」に凝集が認められない場合、その検査結果は有効となる。

しかし、Rh コントロール「三光」に凝集が認められた場合、その検査結果は判定保留となる。

使用上又は取扱い上の注意

1. 本品は抗Dモノクロ「三光」用の対照試薬であり、他の抗D血液型判定用抗体の対照としては使用できない。
2. 検体はHBウイルスなどを含む場合もあるので、感染予防上取扱いに注意すること。
3. 本品は、保存剤としてアジ化ナトリウムを含むので、廃棄する場合には、十分量の水で洗い流すこと。また、誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は、水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当等を受けること。
4. 検査前に常温に戻してから使用すること。
5. 開封後は、細菌汚染や濃縮を避けるためできるだけ早く使用すること。極度の濁りを生じた場合は、汚染や変質のおそれがあるので使用しない。
6. 測定器具は清潔なものを使用すること。
7. 反応温度及び時間は厳守すること。
8. 使用期限を過ぎた試薬は使用しない。
9. 使用済みの容器等の廃棄物は関係法令に従って処理すること。

貯法・有効期間

- 10℃以下で凍結を避けて保存する。
- 有効期間は、製造日より2年間（使用期限は容器ラベル及び外箱に表示）。

包装単位

Rhコントロール「三光」 10mL

参考文献

1. 山野孟, 他: 血液型判定用抗Dモノクローナル抗体の作製. 日輸血会誌, 35(4): 424~433, 1989.
2. 渡邊博文: 抗Dモノクロ「三光」の検討とその評価. 臨床検査機器・試薬, 14(5): 819~822, 1991.
3. 松倉晴道, 他: 輸血により抗Dを産生したと考えられるpartial Dの1症例. 日輸血会誌, 39(4): 766~770, 1993.
4. 瀬尾たい子, 他: Rh血液型判定用抗Dモノクロ「三光」の使用経験. 臨床検査機器・試薬, 17(5): 969~973, 1994.

**,*お問い合わせ先

積水メディカル株式会社 学術担当

電話番号 0120-249-977

FAX番号 0120-247-477

**,*製造元

積水メディカル株式会社
東京都中央区日本橋二丁目1番3号